

かどま社協だより

門真市社協発足50周年記念大会 —平成26年10月26日— 地域福祉の最前線を支えて五十年

昭和39年の発足から50年を迎えた昨年10月26日に記念大会を開催いたしました。地域福祉の推進を共に担ってきた多くの方々と盛大に開催することができ、また本会の運営に多大な貢献をいただいた市民や団体に表彰状と感謝状を贈呈させていただきました。



◆表彰状感謝状の贈呈◆

本会の地域福祉事業の発展にご貢献いただいた市民や団体、社会福祉関係者に対し感謝の意を表して表彰状及び感謝状を贈呈させていただきました。

受賞いただいたのは地域福祉活動の主體的な活動の担い手として功労をいただいた方を始め、寄付や賛助会費による貢献をいただいた方など合せて284の個人及び団体の皆さまです。

今後も益々のご理解とご協力をいただき、共に地域福祉文化の醸成を図りたいと考えます。

○表彰状

- 地域福祉功労者 16
- ボランティア功労者 22
- 社会福祉貢献者 51

○感謝状

- 地域福祉功労者 6
- ボランティア功労者 5
- 社会福祉貢献者 38
- 社会福祉寄付者 25
- 社会福祉賛助者 199

〔1〕は受賞された団体個人数

◆第一部「記念式典」◆

第一部の記念式典では、会場となった南部市民センターに、日ごろから本会事業に対し多大な協力をいただいている行政や福祉活動団体、社会福祉事業者の皆さまとボランティアグループ連絡会から運営ボランティアのスタッフなど230名以上の参加者を迎え、盛大に開催することができました。

本会会長の開会挨拶のあと、

門真市内外から多忙なか駆けつけていただいたご来賓の方々から50年の歴史への敬意や今後の本会の発展を祈念して温かいご祝辞を頂戴しました。合せて記念式典に参加された皆さまには本会の50年の歴史と現在実施している地域福祉事業や活動団体の取り組みを紹介した50周年記念誌を配布資料に同封し、式典開始までの空き時間などにご覧いただきました。



◆第二部「記念講演」◆



第二部の記念講演では、「10年後を見据えて今をつくる社会福祉協議会の役割」をテーマに、大阪府立大学人間社会学部准教授の小野達也先生を講師にお迎えし、社協の未来への展望と大きな期待を込めた熱いメッセージをいただきました。

「住民主体」の基本理念を掲げて設立された社会福祉協議会の歴史的な背景から、協議会から運動体、サービス提供主体へと社会福祉制度の変遷や社会情勢の影響を受けながらも、社協らしい活動や事業を展開することの大切さが語られました。

また講演の終盤には、これからの10年に向けた社協への提言として、「発想・活動・組織の転換」の必要性と、地域住民や地域の活動団体、行政から「必要とされる存在になる」ことの大切さを強く訴えられました。

50年の歴史と足跡を歩んできた本会ではありますが、その歩みは、地域住民の皆さまの主體的な活動の足跡であります。これからも先進的な事業を展開しながら、地域福祉の最前線を住民の皆さまと共に守り「こころあふれる福祉のまちづくり」を実現してまいります。

◆障がい施設産産製品の紹介◆
記念大会にご来場いただいた皆さまへの参加記念品として、門真市障がい福祉を考へる会の皆さんに多彩な産産製品を作成してもらい協力いただきました。

当会は、市内で運営する障がい施設11法人18事業所と2ヶ所の支援機関で組織され、障がいを持つ人の社会参加や自立した生活を支援する目的で結成されました。

参加記念品として配布させてもらった製品は、当事者の方や支援者の方がすべて手作りで作成されたものです。

障がい者の工賃の向上や理解啓発に関心をもちておられる事業所等があれば、団体事務局までご連絡ください。



◆ご祝儀の御礼◆

記念大会にご参加いただいた方々からご祝儀を頂戴いたしました。受領したご祝儀については、本会で取り組んでいる生活困窮者への支援事業に活用させていただきます。皆さまのご厚情に對しましてあらためて御礼申し上げます。

ご祝儀をいただいた皆さまへ—
国際ソロプチミスト大阪・門真門真市老人クラブ連合会
(福) 恵光光会
(特非) 門真市手をつなぐ育成会
(福) 雅福祉会
門真市身体障害者福祉会
鈴記裕幸 順不同敬称略

50年のあゆみ

昭和39年	社会福祉協議会発足 結婚相談所開設 善意銀行設立
41年	親切率の貸出実施
46年	心配ごと相談所開設
47年	かけこみ緊急資金開始 社会福祉法人格取得
53年	手話教室・点字教室開催
54年	寝具乾燥サービス開始 車椅子貸出事業開始
55年	独居高齢者配食事業開始
56年	ひとり暮らし老人の会結成
59年	ボランティアセンター開設
62年	ボランティア保険受付開始 ふれあいグラウンドゴルフ開催
平成3年	福祉基金設置
5年	介護者(家族)の会結成
7年	ボランティア作業所開設
10年	ヘルパー養成研修会開催
11年	阪神淡路大震災支援活動
12年	小地域ネットワーク事業開始
14年	ホームヘルプ事業受託
15年	介護保険事業参入
16年	保健福祉センター事務所移転
17年	地域福祉権利擁護事業開始
18年	離職者支援資金貸付開始
19年	小口生活資金貸付開始
20年	長期生活支援資金開始
21年	ボランティアフェスティバル開催
22年	ボランティアフェスティバル開催
23年	校区福祉委員手帳発行
24年	組織構成委員会制度開始
25年	CSW配置事業受託
26年	地域福祉計画策定
27年	総合支援資金貸付開始
28年	地域福祉連絡会開催
29年	共同募金会事務移管
30年	献血運動推進事業受託
31年	認知症サポーター養成開始
32年	防災士養成開始
33年	東日本大震災支援活動
34年	自殺予防対策研修会開催
35年	生保受給者権利擁護受託
36年	住宅支援給付事業受託
37年	生活困窮者支援事業受託

「口で頑張っている皆さん」
表彰されました!!

平成26年11月12日大阪国際交流センターでおこなわれた平成26年度大阪府社会福祉大会において市内で活動している3団体が表彰されました。

ボランティア功労者
厚生労働大臣感謝賞

「明るい社会づくり運動」
「門真はすはな会」

活動内容
清掃奉仕、家庭教育、歳末募金など幅広い活動を行っています。

大阪府社会福祉
ボランティア知事表彰

「夢楽いびい」座
活動内容
福祉関係施設で元気づけいびいギター弾き語りショーを行っています。



▲「夢楽いびい」座(左)「明るい社会づくり運動」(中)「門真はすはな会」(右)

大阪府社会福祉協議会
会長表彰

協田校区福祉委員会
活動内容
地域の方々にあつた形でいきいきサロン、子育てサロンの開催、ひとり暮らし高齢者の会の支援を行っています。

各団体に関するお問合せは社協まで

平成27年度 賛助会員(会費)募集!

みなさんのご理解とご協力よりしくお願いいたします
社会福祉協議会(社協)は、住民によるたすけあい活動の仕組みづくりを進める法的に位置づけられた民間の福祉推進団体です

本会では、「心ふれあう福祉のまちづくり」の実現を目指して、校区福祉委員会や自治会、民生委員、ボランティア、行政などたくさんの方々の関係団体の協力を得ながら、住民の支えあいのネットワークによる地域福祉活動を推進しています。

社会経済情勢が厳しい状況にある中、急速な少子高齢化の進展や、家族形態の多様化により、家庭や地域で支えあう機能は低下し児童や障がい者・高齢者の虐待、また失業・貧困を起因としたホームレスや自殺・孤独死など、公的制度だけでは対応できない多種多様な生活福祉課題が増大しています。
このような中、住民の支えあ

いによる地域福祉への期待はますます高まっています。
本会が、地域福祉活動を進めるためには、今まで以上の自主的な活動財源を確保・増強していく必要があります。これまでも本会が実施する在宅福祉サービスや校区福祉委員会の地域福祉活動には、皆さんの多大なご理解とご協力が大きな財源となっております。

第2回門真市認知症キャラバン・メイトフォローアップ研修



研修の様子

平成26年11月21日、門真市保健福祉センターにて門真市内外の事業所に所属されている認知症キャラバン・メイト16名の参加により研修会を開催しました。
藤井寺市社会福祉協議会・地域包括支援センターから前原由幸センター長・漆島典子保健師を講師にお迎えし、「楽しく学べる認知症サポーター養成講座に向けて」と題しまして、具体的な事例紹介や他市における取組内容を知ることができました。
キャラバン・メイトフォローアップ研修を通して、メイト同志の繋がりや情報交換、今後のサポーター養成講座への参考に、門真市内における高齢者支援に深めていける機会となりました。

ありがとうございました 平成26年度賛助会員(会費)募集 中間報告 (平成27年1月14日 現在)

6,840,100円

【内訳】
●市内小学校区別(下表) 6,091,600円
●その他市内事業所関係・個人・庁内等 748,500円

校区	金額(円)	校区	金額(円)
速見	425,500	沖	320,000
古川橋	542,300	北嶽本	116,500
門真みらい	1,301,100	四宮	456,000
門真	592,100	東	331,000
大和田	286,000	脇田	254,000
上野口	376,500	砂子	184,900
五月田	342,300	二島	563,400

○賛助会員区分
 一般会員会費 500円から
 特別会員会費 1,000円から
 特別賛助会員会費 10,000円から
 (会員の方に対する義務や権利等はありません)

一般会員(1口500円)
 人数……9,551人
 金額……5,567,100円
 特別会員(1口1,000円)
 人数……703人
 金額……723,000円
 特別賛助会員(1口10,000円)
 人数……39人
 金額……550,000円

事業所など	
2万円以上	門真市民生委員児童委員協議会(株)大宝建設
1万円	(株)天辻鋼球製作所 綾川歯科医院 (株)越智製作所 門真園芸(株) 門真教職員組合 (福)門真共生福祉会 (社)門真市医師会 門真市教職員組合 (社)門真市歯科医師会 (社)門真納税協会 北河内農業協同組合門真中央店 (有)グローリ 幸福産業(株) さくら幼稚園 (有)重洋興業 (医)津樹会 高橋医院 田村工業(株) パナソニック(株) 扶桑金属工業(株) ホテルシルバー

特別賛助会員(順不同・敬称略)

個人	10万円	吉兼 和彦
5万円	奥田 浩二	
2万円	永利 洋一	野田 武臣
1万円	石丸 琢也	川村 貞子
	田中富美雄	中西小夜美
	前原 善昭	松浦 玉秀
	門口 淳	安田 昭夫
		高橋 由行
		前田 和夫
		三浦 俊秀
		安田 道子

皆さんから頂戴しました賛助会費の40%は市内の校区福祉委員会活動の補助金とさせていただきます。他の助成金と合せて地域福祉活動の財源となります。

ひとりで抱えこんでいませんか?

～介護の悩み、話せる場所～

門真市介護者(家族)の会

同じ経験をしているものどうだからこそ話せることがあります。



活動内容

- 会員のケア
- リフレッシュ事業
- 電話相談
- 機関紙の発行

対象

【正会員】市内で介護をしている方

賛助会員

この会の趣旨に賛同し、支援していただける方

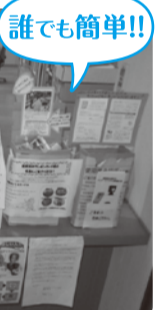
会費

【正会員】年額 1,200円

【賛助会員】1口 1,000円

はじめませんか? 収集ボランティア

本会では各種収集ボランティアの窓口をおこなっています。



誰でも簡単!!

本会でやっている 収集ボランティア



使用済みプリペイドカード

送り先:公益財団法人緑の地球防衛基金
活用方法:中国とタンザニアでの植林活動

エコキャップ

送り先:株式会社ガナツプ
活用方法:発展途上国の子どもたちへのフックンの提供
【キャップ8600個で一人分のフックン】

使用済み切手

送り先:公益社団法人日本キリスト教海外医療協力会
活用方法:アジア・アフリカへの医療従事者派遣

プルトップ

送り先:NPO法人門真プルトップ推進協会
活用方法:車椅子など福祉機器の福祉団体への寄付

使用済みインクカートリッジ

送り先:社会福祉法人あしたの会サントラランド
活用方法:作業所の新たな仕事づくりと資源の有効活用

書き損じはがき

送り先:財団法人日本社会福祉弘済会
活用方法:日本で使用されなくなった車椅子の修理・再生と、それらのアジアの子どもたちへの寄付

現在もたくさん市民の方に協力いただいております。ありがとうございます。

赤い羽根共同募金

平成26年度 共同募金運動にご協力ありがとうございました

「自分の町を良くするしくみ。」というキャッチフレーズで、平成26年10月1日から12月31日にかけて、今年度も赤い羽根共同募金運動を実施致しました。自治会を中心とした市民の皆さまをはじめ、法人・各種団体などのあたたかいご支援・ご協力いただき、ありがとうございました。

平成26年度共同募金 実績額 合計:4,286,264円

募金の種類	募金額
戸別募金	3,791,425円
職域・法人募金	66,853円
街頭募金	63,641円
バッジ・その他募金	364,345円

この機関紙は、赤い羽根共同募金の配分金を受け発行・配布いたしました。今後の社協事業につきましても、なお一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。お礼と報告にかえさせていただきます。



『ありがとう』 あなたの気持ちがつながります



平成26年10月1日
民生委員児童委員協議会による古川橋駅前での街頭募金の様子

社協のひろくみ

防災・減災と被災地支援

防災・減災

本会では、平成22年度より門真市校区福祉委員を対象に防災士を養成しています。

防災士って何？

自助・共助・協働を原則として、社会の様々な場所での減災と社会の防災力向上のための活動が期待され、かつ、そのための十分な意識・知識・技能を有する人たちです。

全国に79,163人
(平成26年6月現在)

現在門真市内には、31人の防災士が各校区の特徴にあわせて活動しております。

「防災・減災について学びたい」「防災・減災のために地域でできることはなにか」

地域でこんな声がありましたら、防災士と一緒に活動を楽しみましょう。

被災地支援

東日本大震災で被災された宮城県の「のぞみ福祉作業所」と被災後から現在に至るまで継続的な交流をおこなってきました。同所が、この度タオルなどを作られ、販売もしています。(送料と振込手数料は別途必要となります。)



【商品一覧】

- モアイフェイスタオル顔小(グレー、白)1,080円
- モアイハンドタオル顔小(グレー、白)864円
- モアイハンドタオル顔大(グレー、白)864円
- キャラクターハガキセット(オクトパス君、うたちゃん、むすび丸、ホヤボーや、のぞみモアイ)500円

【事業所紹介】

事業所名 ■ 社会福祉法人 洗心会
のぞみ福祉作業所
所在地 ■

〒986-0700
宮城県本吉郡南三陸町志津川
字沼田 56-3
電話番号 ■ 0226-46-5129



購入を希望される方は、のぞみ福祉作業所へご連絡ください。

日常生活自立支援事業

この事業では、福祉サービスの利用援助や日常の金銭管理をお手伝いすることで、住み慣れた場所で安心して生活していただけるようにサポートします。相談は無料です。

くわしくは本会までお問い合わせください。

☆☆対象となる方☆☆ (下記のすべてに該当する方)

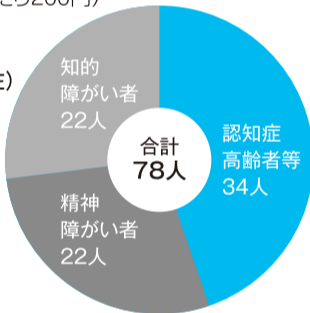
- 門真市内にお住まいの方
- 物忘れが多くなった高齢者や知的障がい・精神障がいをお持ちの方で、日常生活を営むにおいて判断能力が不十分な方(身体的な理由のみで、入出金や支払等を行うことが出来ない方については対象となりません)
- 近くに身寄りがない方
- 契約時において、本人がサービスの利用を希望し、その意思が確認できる方

☆☆サービスの内容☆☆

福祉サービスの利用援助
福祉サービスに関する情報の提供や、サービスを受けるにあたっての手続きなどを援助します。
日常の金銭管理サービス
医療費や福祉サービスの利用料、家賃や公共料金等の支払いを代行します。また、必要な生活費を定期的にご自宅までお届けします。
通帳・書類等の預かりサービス
保管を希望される重要な書類等を本会が契約する金融機関の貸金庫にて保管します。 (例)預金通帳、年金証書、印鑑など

※サービスのご利用にあたり、所得の状況に応じて年会費およびサービス利用料が必要となります。
・年会費(1,000~5,000円)
・金銭管理サービス利用料(1回につき0~1,000円)
・貸金庫利用料(1ヶ月あたり200円)

■契約者数 (平成26年12月末現在)



パンフレットの配布もしています♪



NPO法人 門真市手をつなぐ育成会

■連絡先 ■
※受付 平日10:00~18:00 [電話]090-9278-9238
■住所 ■
門真市新橋町26-18

ホッとくぐり場

傾聴サロンにきませんか？

本会は門真市自殺対策連絡会議に参画をしています。その中の取り組みとして、傾聴サロン(ティア)の養成をおこなっております。養成講座の修了生が、あつまり傾聴ボランティアグループ「くぐりの会」を結成し、日々活動に励んでおり、誰もが気軽に利用できる「傾聴サロン」を月に1回開く予定です。

【サロン開催日】 毎月第4水曜日
午後2時~午後3時
【場所】 門真市保健福祉センター1階ふれあいコーナー
【対象】 誰でもお申し込みいただけます。

どなた様でも気軽に
おこしく下さい♪
無料
傾聴サロン オープン

誰かにゆっくり話したい、悩みを聞いてほしい...
あなたは誰かに聞いてほしいことありませんか??

【開催日】 毎月第4水曜日 午後2時~3時まで
【場所】 門真市保健福祉センター1階
ふれあいコーナー
(場合によってはボランティアルームになります)

「ん、ん、お話をさせて。」

問合せ先
門真市御堂町14番1号 門真市保健福祉センター内
門真市社会福祉協議会 (06-6902-6453)

『傾聴サロン』の案内チラシ

... Hugくみ相談(ペアレント・メンター活動)...

気軽にお茶しながら 子育てでトークしてませんか？

ご本人への支援だけでなく、家族への支援活動として、地域社会から孤立する家庭がなくなることを目指し、共感できる者同士として同じ親の立場から親への相談活動を充実させます。



Hugくみ相談って

「子どもの成長や発達に不安があり心配があるの...」「発達検査(こころやちから)の...」「うちの子、いつも手がかかると...」

「私たちがお話を聞きます」
子育てをする中で、同じような経験をした親
・ 学識経験者
・ 福祉、心理関係の専門家

幅広く活動中!

- 本人の活動
- ・ マインドエプロン教室
- ・ おもちゃ図書館
- ・ ボウリング大会
- ・ バスツアー
- ・ クリスマス会
- ・ アイススケート体験 など
- 家族への支援
- ・ 関係機関への連携
- ・ 医療機関情報の提供
- ・ 研修会
- ・ 相談活動
- ・ 行政懇親会
- ・ ワークショップ など

【対象】
・ 子育てにお悩みの方
・ 赤ちゃんから大人までの方

NPO法人門真市手をつなぐ育成会では、「本人の活動」「家族の支援」を行っています。

小地域ネットワーク活動

あなたのまち(校区)のいま

市内15の概ね小学校校区ごとに組織された校区福祉委員会は、地域のみなさんが安心して暮らしやすいまちを目指し、各校区で様々な活動を行っています。
あなたも参加してみませんか?詳しくは本会までお問い合わせください。



上野口校区福祉委員会

独居老人食事会の様子



活動場所はココ!!

上野口町南自治会館 / 野里町自治会館 / 野里町西自治会館 ※場所により活動内容が異なります。

二島校区福祉委員会

みつじまひまわりサロンの様子



活動場所はココ!!

吉村様宅(2階) 住所:三ツ島670-1

沖校区福祉委員会

いきいきサロンの様子



活動場所はココ!!

地域高齢者交流サロン

五月田校区福祉委員会

チューブ体操の様子



活動場所はココ!!

五月田町協栄自治会館 / 西打越自治会館 / 五月田中央自治会館 ※場所により活動内容が異なります。

生活福祉資金

貸付制度

生活福祉資金は、低所得者、障がい者または高齢者の世帯に対し、資金の貸付けと必要な相談支援を行うことにより、経済的自立および生活意欲の助長促進ならびに社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的とするものです。

資金の種類

教育支援資金

高等学校・大学・短大・高等専門学校への入学及び就学するために必要な資金の貸付を行う制度です。申請の際には、合格通知等の入学先が分かる書類や、民生委員の調査書(所定様式)が必要になります。

大阪府育英会や日本学生支援機構奨学金等の貸付制度を優先して活用していただきますが、すぐに活用できない場合に、それまでの「つなぎ」として貸付を行います。

貸付の対象となるもの

学校指定により納付する入学金・授業料、制服・靴・鞆・運動着・教科書代などの学用品購入費、施設整備費、通学費、学生寮費用など。

貸付金の審査および交付には所定の手続きが必要のため、学校の指定する入金締切に対応できない場合もあります。その場合は、学校側と学費延納について各自でご相談をお願いします。

福祉資金

療養・冠婚葬祭・住居移転・技能習得・災害からの自立など

使途に応じ資金の貸付を行う制度です。

総合支援資金

失業等により、生計の維持が困難となった世帯に対し、生活再建までに必要な資金の貸付を一定期間行う制度です。

小口生活資金

傷病、資金の未払・遅配等を原因として一時的に生計の維持が困難となった世帯に10万円を上限(単身世帯は上限5万円)として貸付を行う制度です。

なお本資金は他の公的な給付や、貸付け制度の活用が優先される場合があります。また資金により条件が異なる他、申込に際し、添付書類の提出が必要となります。詳しくは本会までお問い合わせください。

福祉の「なんでも相談」窓口

ご紹介!

本会では、くらしの中の身近な相談窓口を設置しております。個人情報を守り、一緒に解決に向けてご相談をお聞きします。

「総合相談窓口」

保健や福祉に関する心配ごと・悩みごとなど、ご入相談に行けばいいかわからない方の相談をお受けし、問題解決へのサポートをします。

「いきいきネット相談支援センター」

OSW(コミュニティソーシャルワーカー)と呼ばれる相談員を配置しており、皆さんからの福祉に関する様々な相談に対して、地域の関係機関と連携を図りながら解決にむけて対応していきます。

◇相談時間

平日の午前9時から午後5時30分まで

◇場所

門真市保健福祉センター1階 ※必要に応じてご自宅やサロン活動に訪問し相談をお受けする場合もあります

◇問い合わせ先

門真市社会福祉協議会 電話:06-6900-26453

「どこに相談行ったらいいんやろう…」迷ったときは、福祉の総合相談窓口まで!

相談窓口Q&A

Q1 どんな相談を受けているの?

○相談内容件数(平成25年度)

生活費に関する相談	241件
生活や近隣に関する身近な相談	106件
健康・医療に関する相談	71件
福祉の制度やサービスに関する相談	58件
住宅に関する相談	56件
就労に関する相談	51件
子育て・子どもの教育に関する相談	30件
DV・虐待に関する相談	19件
財産管理・借金に関する相談	13件
地域活動・ボランティアに関する相談	6件
その他	24件
合計	675件

Q2 どんな人からの相談が多いの?



平成25年度

本人だけじゃなく、行政機関や近隣住民からなど、様々な人から相談を受けています。相談を受け、必要な機関におつなぎします。